

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2018年4月26日～2018年5月2日)

平成 30 年(2018 年)5 月 4 日

H E A D L I N E S	
<p>政治 ペレグリニ・スロヴァキア首相, ポーランド訪問 ブワシュチャク国防大臣, 訪米 チャプトヴィチ外務大臣, NATO外相会合に参加 米駆逐艦, ポーランド・グディニア軍港に入港 5月のポーランドの国連安保理議長国月が開始</p>	<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります。問合せ先: 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍、国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>
<p>治安等 警察, ウッチ市内のアパートで大量の不発弾を発見 警察, 新規採用職員確保に苦慮 ワルシャワ交通警察, 警察官の待遇改善を求め抗議行動を実施中 国境警備隊, 偽造旅券で入国を試みたイラン人を拘束 当地におけるネオナチ組織の活動状況 警察, 国際自動車窃盗団を摘発</p>	
<p>経済 中央空港建設に関する特別法の政府案決定 ビジネス憲章の施行 世界銀行, ポーランドの経済成長率を上方修正 国営石油企業 PKN Orlen 社によるサウジ産原油の調達拡大 ポーランド航空 (LOT) の労働組合によるストライキの中止 ポーランド・米国ビジネスサミットの開催 バルト海パイプラインの敷設 COP24の議長任命</p>	
<p>大使館からのお知らせ 長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意 欧州でのテロ等に対する注意喚起 「たびレジ」への登録のお願い パスポートダウンロード申請書の御案内 平成30年度前期分教科書の配布に関する御案内 領事出張サービスの実施に関する御案内 海外に在留する邦人の子女に対するいじめ相談窓口について 国際機関への就職に関心がある皆様へ 大使館広報文化センター開館時間 文化行事・大使館関連行事</p>	
<p>在ポーランド日本国大使館 ul. Szwoleżerów 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp</p>	

政 治

外交・安全保障

ペレグリニ・スロヴァキア首相、ポーランド訪問【4月26日】

26日、ペレグリニ・スロヴァキア首相が当地を訪問し、モラヴィエツキ首相と二国間関係の他、EUの統合促進、両国とタックスヘイブン地域との関係、V4協力、EUにおける中小企業の振興策等について意見交換を行った。

ブワシュチャク国防大臣、訪米【4月26～27日】

26～27日、ブワシュチャク国防大臣は、米国を訪問し、ジョン・ボルトン安全保障担当大統領補佐官と会談を行い、ポーランド駐留米軍兵士の増加について提案を行うと共に、NATO改革、ポーランド東部の地政学的な状況について意見交換を行った。また、同大臣は、マティス米国国防長官と会談を行い、ポーランドの対GDP比2.5%の国防費支出の計画、パトリオットミサイルの購入契約について賞賛を受けた。

チャプトヴィチ外務大臣、NATO外相会合に参加【4月27日】

27日、チャプトヴィチ外務大臣は、NATO外相会合に参加し、会合後の記者会見にて、ロシア海軍がポーランドの排他的経済水域内で海軍演習を実施し、英国にて化学兵器による襲撃を行い、シリアにおけるロシア軍の活動、未だにに応じていないスモレンスク

で墜落した事故の政府専用機の返還等、ロシアが、欧州及びその隣国の脅威となっており、NATOはロシアに対して団結して強硬な態度で臨むべきであり、対話のチャンネルは維持すべきではあるが、ロシアが国際法を遵守しない状況においては、制裁を解除すべきではない旨述べた。

米駆逐艦、ポーランド・グディニア軍港に入港【4月27～30日】

27～30日、米海軍ファラガット駆逐艦は、ポーランド北部のグディニア軍港に入港した。在ポーランド米大使館は、同艦の寄港目的は、二国間の軍事交流、地域及び欧州全体の安全保障への貢献であると説明した。同艦は、9,600トンで、全長155m、兵員は380名である。

5月のポーランドの国連安保理議長国月が開始【5月1日】

国連安保理で本年1月1日より非常任理事国を務めるポーランドは、今月、同理事会の議長国を務める。17日の公開討論会ではドゥダ大統領、22日の討論会ではチャプトヴィチ外相が議長を務める予定。4月30日、シュテルスキ大統領府國務次官は、5月は朝鮮半島情勢等により、国際関係にとって非常に重要な月となりうると述べた。

治 安 等

警察、ウッチ市内のアパートで大量の不発弾を発見【4月26日】

25日夜、ウッチ市ポモルスカ通りのアパートで大量の不発弾が発見され、警察がアパートの住民22人を避難させ、爆発物処理部隊によって無害化処理した。不発弾は同アパートの住民であるポーランド人男性が趣味で収集していたもので、警察は同人を拘束し、起訴に向けて準備を進めている。

警察、新規採用職員確保に苦慮【4月27日】

警察は、職員の賃上げなど待遇改善に取り組んでいるが、依然として人材確保に苦慮している。2018年4月1日現在、警察全体で、定員の約5%にあたる5,329人の欠員が生じており、ワルシャワ、ウッチ、カトヴィツェで定員割れが深刻となっている。これは定年等で退職するベテラン警察官の数が新規採用職員数を大幅に上回っていることなどが原因で、ベテランの離職に伴う警察の能力低下が危惧されている。警察労働組合は、新規採用職員の給与が低いことや年金支給開始年齢が他の職種より高いこと

が人員不足の要因となっていると指摘している。

ワルシャワ交通警察、警察官の待遇改善を求め抗議行動を実施中【4月27日】

ワルシャワ交通警察の警察官は、人手不足や低賃金といった警察官の置かれた労働状況の改善を求め、イースター休暇以降、悪質な違反を除き交通違反切符を極力発行しないという抗議行動を実施している。ワルシャワ交通警察は、四月中、交通違反切符を1日平均20件程度しか発行しておらず、同数値は前年比20分の1以下の水準にまで落ち込んでいる。ワルシャワ首都警察は、交通警察官の増員及び賃金問題の解決を確約するなどして事態の沈静化を図っているが、抗議行動の収束のめどは立っていない。

国境警備隊、偽造旅券で入国を試みたイラン人を拘束【4月27日】

27日、国境警備隊は、ポズナン空港で、偽造フランス旅券を使用して入国を試みたイラン人を拘束し

た。同イラン人はギリシアから空路でポズナンに到着した者で、偽造のギリシア在留許可証も所持していた。同人は、トルコからギリシアに密入国後、ギリシアで3,000ユーロを支払い偽造書類及びチケットを入手したと供述しており、国境警備隊が強制送還に向けて手続きを行っている。

当地におけるネオナチ組織の活動状況【4月29日】

29日、当地の情報機関と統轄する特務機関調整大臣付のジャリン報道官は、ファシズムに関するプロパガンダ活動を行ったとして本年4月21日に公安庁(ABW)が拘束したクシュトフ・S(44歳)及びピョートル・G(36歳)について、ネオナチ組織Blood & Honorのドルノシロンスキエ県支部指導者で、セルビア、チェコ、ウクライナ、フランス、英国、ドイツのネオナチ組織と頻りに接触していたと述べた。また、同報

道官は、Blood & Honorの活動資金について、ネオナチ関係者が集う地下コンサートの収益金、アルコール及びファシズムに関連した服飾品の販売等で賄われていると付言した。

警察、国際自動車窃盗団を摘発【5月2日】

2日、国家警察本部は、ドイツ警察と共同で、ポーランド及びドイツで活動する国際自動車窃盗団を摘発した。同窃盗団は、ドイツで高級車を盗難後、ポーランドに持ち込んで解体し、部品として販売していた。同窃盗団は高度に組織化され、盗難防止装置を無効化する特殊機器も所持していた。ポーランドでは、ドルノシロンスキエ県とヴィエルコポルスキエ県で同窃盗団のメンバーが拘束されており、ドイツ警察の捜査によれば、被害総額は170万ユーロにのぼる。

経 済

経済政策

中央空港建設に関する特別法の政府案決定【4月27日】

中央空港建設に係る特別法の政府案が閣議で承認された。ヴィルド・インフラ副大臣兼中央空港事業担当政府代表によると、今後同法案は下院に送られ、6月頃の採択を見込んでいる。

30日、5つの法律で構成されるビジネス憲章が施行された。同憲章の中には外国投資家のビジネス環境を改善する法律も含まれている。ハラディ投資・開発副大臣は、これまで複数の法律に別々に規定されていた規制が、包括的に一つの法律にまとめられたことで、法律上の要件が理解しやすくなり、投資促進に繋がることが期待されると述べた。

ビジネス憲章の施行【4月30日】

マクロ経済動向・統計

世界銀行、ポーランドの経済成長率を上方修正【4月27日】

世界銀行は、ポーランドの経済成長率の見通しを今年1月の発表から上方修正した。2018年に

ついては、当初予測の4.0%から4.2%、2019年については、3.5%から3.7%、2020年については、3.1%から3.5%に引き上げた。

ポーランド産業動向

国営石油企業 PKN Orlen 社によるサウジ産原油の調達拡大【4月30日】

国営石油企業 PKN Orlen 社は、サウジアラムコ社と、月あたり10万立法米規模で原油調達量を拡大することで合意した。既存契約と併せて毎月30万立法米のサウジ産原油の調達が可能となる。調達された原油は、ポーランド国内で精製され、国内、チェコ、リトアニアで使用される予定。

の中止【5月1日】

1日、ポーランド航空(LOT)の労働組合は、予定していたストライキを中止し、代わりに、LOT本社前で約100名のパイロットや乗務員が抗議行動を実施した。労働組合側は給与制度の見直しを求めているほか、従業員を常勤ではなく短期契約で雇用していることなどに抗議している。労働組合の代表は、1日のストライキは延期したが、状況が改善しない場合には今後2週間以内にストライキを行う可能性があるとして述べた。

ポーランド航空(LOT)の労働組合によるストライキ

エネルギー・環境

ポーランド・米国ビジネスサミットの開催【4月27日】

26日、ドゥダ大統領はポーランド・米国ビジネスサミットにおいて、両国の関係について防衛協力と同様に経済協力も重要であると述べ、双方はノルドストリーム2に関して反対の立場を示しており、エネルギー協力の必要性を指摘した。また、モラヴィエツキ首相も米国産ガスの輸入を促し、中東欧のガス・ハブを目指す意向を示した。

バルト海パイプラインの敷設【4月27日】

国営ガス企業Gaz-Systemのステンピエニ社長は、当面は海底の分析調査、法的作業と社会的協

議を実施し、6月までにバルト海パイプライン敷設ルートを最終決定する旨述べた。敷設ルートは、既存インフラ設備、ノルドストリーム2の影響、環境保護団体の抗議による影響を受ける可能性がある。

COP24の議長任命【4月30日】

モラヴィエツキ首相は、クリティカ・エネルギー副大臣をCOP24の議長に任命した。本件に関し、COP23においてCOP24の議長として選出されていたシシュコ前環境大臣は、国際的な合意なしでの議長変更は国連の規定に抵触しているとして反対している。

大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生していませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先を御覧ください。

http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_schengen_2.html

欧州でのテロ等に対する注意喚起

欧州では、2017年もスペイン、フランス等で新たなテロが発生しており、今年も引き続き更なるテロの発生が懸念されます。

観光客やイベント等を標的とするテロに警戒する必要があることに加え、イベント等の警備のため手薄となった他の都市でのテロの実行も懸念されます。以上を踏まえ、以下のテロ対策をお願いします。

(1) 外務省が発出する海外安全情報及び現地報道等で最新の治安情勢等の関連情報の入手に努めるとともに、日頃から注意を怠らないようにする。

(2) 以下の場所がテロの標的となりやすいことを十分認識する。

観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ、映画館等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設(特に軍、警察、治安関係施設)等。

(3) 上記(2)の場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等の注意に加え、その場の状況に応じた安全確保に十分注意を払う。

(4) 現地当局の指示があればそれに従う。特にテロに遭遇してしまった場合には、警察官等の指示をよく聞き冷静に行動するように努める。

(5) 不測の事態の発生を念頭に、訪問先の出入口や非常口、避難の際の経路、隠れられる場所等についてあらかじめ入念に確認する。

詳しくは下記リンク先を御覧ください。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

「たびレジ」への登録のお願い

3か月以上海外に滞在する方は在留届の提出を、3か月未満の場合は「たびレジ」への登録を必ず実施して

ください。渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができます。また、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

下記リンク先から「たびレジ」に登録することができます。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

パスポートダウンロード申請書の御案内

2017年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、御自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先を御覧ください。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/download/top.html>

平成30年度前期分教科書の配布に関する御案内

在ポーランド日本国大使館では、ポーランド在住で平成29年9月末日までに大使館に「在留届」を提出している邦人子女を対象に、日本の小学生、中学生用の教科書(平成30年度 前期分)を配布しています。御希望の方は『教科書申込書』を入手の上、該当事項を記入して、下記の申込先に送付してください。ワルシャワ日本人学校の児童、生徒(入学予定者を含む)については、同校を通じて配布いたしますので、申し込みの必要はありません。なお、教科書自体は無償ですが、郵送による受取りを希望される方については、大使館(ワルシャワ市)から「着払い」にて送付するため送料が発生します。あらかじめ御了承ください。

教科書申込書のリンク:<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/kyoukasho30.1semester.pdf>

申込先: cons@wr.mofa.go.jp (Eメールの場合)

22-696-5006 (FAXの場合)

ul. Szwoleżerów 8, 00-464 Warszawa (郵送の場合)

領事出張サービスの実施に関する御案内

在ポーランド日本国大使館は、ヴロツワフ市において、遠隔地にお住まいの在留邦人の皆様を対象に、旅券(パスポート)の申請または交付、各類型証明の申請、戸籍・国籍の届出、在外選挙人名簿登録の申請、在留届の受付等を行う領事出張サービスを実施します。会場及び実施日時は下記のとおりです。同サービスの利用を希望される方は、当館領事部ウェブサイトを御確認の上、予約等の事前手続きをお願いいたします。

予約方法や必要書類に関するお知らせ: <http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/ryoujishutchou30wroclaw.pdf>

会場: Hotel Mercure Wrocław Centrum, Plac Dominikański 1,50-159 Wrocław

実施日: 2018年5月19日(土曜日)

実施時間: 午前9時30分から午後12時15分まで、午後1時15分から午後4時まで

海外に在留する邦人の子女に対するいじめ相談窓口について

海外に在留する邦人の子女への教育振興を目的に活動する公益財団法人・海外子女教育振興財団は、海外子女教育専門の教育相談員による教育相談を実施しているところ、この度、いじめに関しても相談を受け付けることとなりました。詳細については、下記にお問い合わせください。

問合せ先: 公益財団法人 海外子女教育振興財団 事業部 教育相談事業チーム

電話: 81-3-4330-1352(受付時間: 月~金曜 10時~16時)

Eメール: soudanjigyol@joes.or.jp

国際機関への就職に関心がある皆様へ

在ポーランド日本国大使館では、国際機関への就職に関心がある日本人の方を対象に、外務省国際機関人事センター作成の資料を配付しています。御希望の方は、大使館広報文化センターへお問い合わせください。

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜~金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

文化行事・大使館関連行事

【開催中】日本人形展: 魔法・民族・神話【3月3日(土)~6月3日(日)】

グダンスク市にて、グダンスク国立博物館民族誌部主催による『日本人形展: 魔法・民族・神話』が開催されます。日本人形、ひな人形、こけし、だるまなどが展示中です。

開催場所: グダンスク市 (ポモージェ県), グダンスク国立博物館民族誌部, ul. Cystersów 19

詳細: <https://www.facebook.com/MuzeumNarodoweGdansk/>

【開催中】展示会: 「文化と遊ぶ: アジアの伝統的なゲーム・遊び」【4月7日(土)~6月30日(土)】

ワルシャワ市にて、アジア太平洋博物館主催による展示会『文化と遊ぶ: アジアの伝統的なゲーム・遊び』が開催されます。お手玉、けん玉、竹とんぼ、あやとり、手まり、こま、将棋などが展示中です。

開催場所: ワルシャワ市, アジア太平洋博物館, ul. Solec 24

詳細: <http://www.muzeumazji.pl/>

【開催中】ポフシン植物園の日本月間【4月8日(日)~5月5日(日)】

ワルシャワにて、ポーランド科学アカデミー植物園・ポフシン生物多様性保全センター主催による『ポフシン植物園の日本月間』が開催中です。日本の写真展、日本料理の講演会、折り紙・書道・苔玉のワークショップ等が予定されています。チケット: 10~12 PLN。

開催場所: ワルシャワ市, ポーランド科学アカデミー植物園・ポフシン生物多様性保全センター, ul. Prawdziwka 2

詳細: <http://www.ogrod-powsin.pl/o-nas/kalendarz/miesiac-japonski-w-ogrodzie-botanicznym-w-powsinie>

【開催中】ピウスツキ兄弟: ペンと銃で独立へ【4月27日(金)~11月11日(日)】

ゾリ市にて、ゾリ市立博物館主催による『ピウスツキ兄弟: ペンと銃で独立へ』が開催中です。プロニスワフ・ピウスツキによるアイヌ研究にフォーカスしたピウスツキ兄弟に関するイベントです。アイヌ文化及び日ポ関係史を紹介した展覧会、ワークショップ、講演、パフォーマンスなどが予定されています。

開催場所: ズョリ市 (シロンスキエ県), ズョリ市立博物館, ul. Muzealna 1/2

詳細: <http://muzeum.zory.pl/>

【予定】日本デー【5月3日(木)】

リブニク市にて、リブニク市役所主催による『日本デー』が開催されます。武道デモンストレーション、茶道デモンストレーション、書道ワークショップ等が予定されています。

開催場所: リブニク市 (シロンスキエ県), ul. Rynek

【予定】国際武道セミナー「日本文化との出会い」【5月5日(土)~6日(日)】

シチェブジェシ市にて、シチェブジェシ市武道協会「武士道」主催による『国際武道セミナー「日本文化との出会い」』が開催されます。武道ワークショップ・デモンストレーションや日本についての講演などが予定されています。

開催場所: シチェブジェシ市 (ルブリン県), ul. XXX - lecia 3/24

詳細: <https://www.facebook.com/BushidoSzczebrzeszyn/>

【予定】日本フェスティバル 花見2018【5月6日(日) 10時~17時】

ワルシャワ市にて、「ラクガク」日本語学校主催による『日本フェスティバル 花見2018』が開催されます。日本文化を紹介する様々なデモンストレーション、ワークショップ、ブース展示・販売などが予定されています。

開催場所: ワルシャワ市 (マゾフシエ県), 「Pub Lolek」店, ul. Rokitnicka 20

詳細: <http://rakugaku.pl/hanami/>

【予定】百射会 【5月12日(土)】

ミシャドウォオ市にて、ポーランド弓道連盟主催による『百射会』が開催されます。

開催場所: ミシャドウォオ市 (マゾフシエ県), 教育スポーツセンター, ul. Kwiatowa 28

詳細: <http://kyudo.pl>

【予定】日本の浮世絵展「女: 美・カ・忘我」【5月15日(火)~8月15日(水)】

ワジェンキ公園にて、「女性」をテーマとした浮世絵展が開催されます。

開催場所: ワルシャワ市, ワジェンキ公園, ul. Agrykola 1

詳細: <https://www.lazienki-krolewskie.pl/pl>

【予定】「日本の週末」朝市 【5月19日(土)・20日(日)】

ワルシャワ市にて、朝市ポーランド主催による『「日本の週末」朝市』が開催されます。武道デモンストレーション, 様々な子供向けのワークショップ(紙芝居, 折り紙, 着付け, 漫画, 花札, 碁, 将棋等)や三味線演奏が予定されています。

開催場所: ワルシャワ市

5月19日(土) 9~16時 ジョリボシ区, al. Wojska Polskiego 4/ ul. Śmiała

5月20日(日) 10~17時 モコトフ区, skwer im. AK. Granat, ul. Puławska 113A

詳細: <http://targzniadaniowy.pl/>

【予定】欧州極真空手選手権 【5月19日(土)~20日(日)】

ワント市にて、レジャイスク極真空手クラブ主催による『世界極真武道会(WKB)の欧州極真空手選手権』が開催されます。

開催場所: ワント市 (ポトカルパチエ県), ul. Armii Krajowej 57

詳細: <http://www.karate.lezajsk.pl/>

本資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やお勧めのイベント, 困ったことなど, 皆様に伝えたいと思われる情報があれば, 下記のアドレスまで御連絡ください。(営利目的など, 内容によっては対応できかねる場合もありますので御了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先Eメールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のEメールアドレスまで御連絡ください。大使館ウェブサイト(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm>)も併せて御覧ください。

本資料に関する問い合わせ E メールアドレス (newsmail@wr.mofa.go.jp)